薬草園かわらばん

皆さ～んチョット覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ‥

２０１７年
８月３０日
第２２号

トウガラシ（ナス科）

南アメリカ大陸ペルー原産の一年草。多くの栽培品種があり、タカノツメ、ニッコウトウガラシが市場品種と言われています。果実を生薬名バンショウ（蕃椒）として使用するほか、香辛料のとしても使用します。トウガラシの赤い色素はカロテノイドで、体内でビタミンＡに変わります。辛味成分はカプサイシンで、強い刺激作用があり適量で胃液の分泌を促進して消化を助けます。また、血行を促進する外用薬として用いられ、煎じた汁に手足をつけシモヤケを治したり、果実をそのまま靴下に入れシモヤケの予防に使われたりしてます。

ヘクソカズラ（アカネ科）

何というインパクトのある名でしょうか？園内の木やフェンスに巻き付き伸びています。繁殖力旺盛なつる性の多年草。葉や茎をもんだり、ちぎっ たりすると臭いからヘクソカズラ（屁糞葛）。花は名に反して、可憐で、その姿からヤイトバナ、サオトメバナとも呼ばれてます。果実をケイシトウカ（鶏尿藤果）と呼び、抗菌作用があり民間療法として、ひび、あかぎれに用いられています。私は、秋によく熟した果実を採って、すり潰してハンドクリームに混ぜて使っています。

今、こんな草木が楽しめます　　**待ってまーす！！**